

[1] CCIP 及び CCRP マスターモードを使用した無誘導爆弾の実践訓練へようこそ。

オートパイロットで高度と方位を維持している。ミッション中、速度が 200knots 以上を維持するようにスロットルを管理してくれ。

[2]

[3] TAD レンジを 40nm にセットしろ。これをするには、まず OSB-15 を押して TAD を SOI にし、それから HOTAS DMS DOWN コマンドか END を 3 回押せばいい。

[4] では、HUD を SOI に戻そう。HOTAS クーリーハット UP コマンドか、U を押せ。

[5] A-10C は、Mk-82 500 lbs 及び Mk-84 2,000 lbs 低抵抗通常 [ロー・ドラッグ・ジェネラル・パーパス] (LDGP) 自由落下爆弾を装備できる。加えて、Mk-82 の高抵抗バージョンである Mk-82AIR は低高度での遅延爆撃に使用できる。さらに、CBU-87 複合効果弾 [コンバインド・エフェクツ・ミュニションズ] (CEM) クラスタ爆弾は、車両集団など軽武装した面状の標的に対して使用できる。

OSB-14 を押して DSMS を開き、今回のペイロードを見ておこう。

[6] 我々は、ステーション 3 と 9 のトリプル・イジェクター・ラックス (TER) に 6 発の Mk-82 を、ステーション 4・5・7・8 に 4 発の Mk-82AIR を積んでいる。

OSB-1 を押してプロファイル・メイン・ページに入れ。

[7] OSB-19 で「MK-82」プロファイルを選択し、OSB-3 でプロファイル・コントロール・ページに入れ。

[8] OSB-6 を押して、リリース・モードを「PRS」 (pairs [ペア]) にセットしろ。このセッティングにより、ウェポン・リリース・ボタンを押すたびに両側の TER ステーションからそれぞれ 1 発の Mk-82 が投下される。

リリース・モードが「PRS」にセットできたら、OSB-16 をおして、プロファイル・セッティング・ページに入れ。

[9] プロファイル・セッティング・ページでは、OSB-20はセーフ・エスケープ・マニューバ（SEM）をセレクトするのに使われる。現在は、「CLM」（クライム）にセットされている。覚えておいてほしいのは、地上からミッションをスタートするとき、ランプからのコールドスタートか滑走路からのホットスタートかに寄らず、デフォルトでSEMは通常「NONE」にセットされている。その場合、有効なCCIPソリューションは得られない。戦闘空域に入る前に、「CLM」、「TRN」（ターン）、「TLT」（ターン・レベル・ターン）のいずれかにSEMをセットすべきだ。

プロファイル・セッティング・ページではさらに、OSB-19でデザイアード・タイム・オブ・フォール〔指定落下時間〕（「DES TOF」）、OSB-18でミニマム・リリース・アルティチュード〔最低投下高度〕（「MIN ALT」）をセットできる。これらの設定はCCIPソリューションのミニマム・レンジ・ステープル（MRS）とデザイアード・リリース・キュー（DRS）の位置を決定する。数分後にはこれらを見ることになるだろう。

次に進んでよければSPACE BARを押してくれ。

[10] 最低投下高度を1,500ftにセットしよう。これをするには、まずUFCスクラッチパッドで「1500」を押し、それからOSB-18を押してDSMSに数値を入力する。

[11] OSB-3を押して、このプロファイルをセーブしろ。

[12] 次はMk-82AIRの設定をしよう。OSB-19で「MK82APO」プロファイルをセレクトし、OSB-3でプロファイル・コントロール・ページに入れ。

[13] このプロファイルはいくつか変更を行おう：

- 1) OSB-6を押してリリース・モードを「RIP SGL」にする。これは爆弾を連続的に投下する。
- 2) UFCスクラッチパッドで「2」を押したあとOSB-8を押して、連続投下数を2にセットする。
- 3) OSB-10を押して、このプロファイルのHUDモードをCCRPに変更する。

OSB-7の信管設定のデフォルトになっている「N/T」（ノーズ/テール）は高抵抗投下用のシュートを展開するぞ。今回は低高度からの高抵抗CCRP投下をするつもりなのでそのままの設定でよい。Mk-82AIRを低抵抗爆弾として投下したいなら、この信管設定を「NOSE」にしなければならない。

また、OSB-9の着弾間隔設定の75ftは、UFCを使って違う数値に変更することができるぞ。

OSB-16を押してプロファイル・セッティング・ページに入れ。

[14] UFC スクラッチパッドで「200」を押したあと OSB-18 を押して、最低投下高度を 200ft にセットしろ

[15] OSB-3 でこのプロファイルの変更をセーブしろ。

[16] OSB-1 を押して DSMS ステータス・ページに戻れ。

[17] AHC パネルのマスター・アームを 2 回右クリックして TRAIN にセットしろ。

[18] 爆弾は CCIP (コンティニューアスリー・コンピューテッド・インパクト・ポイント) HUD モードと CCRP (コンティニューアスリー・コンピューテッド・リリース・ポイント) HUD モードから使用できる。平たく言えば、CCIP は地表の着弾点を計算して表示し、CCRP は指定された空中の投下地点を表示する。

2 つのモードのうち、CCIP は最も分かりやすい。パイロットはピパーをターゲットの上に置き、爆弾を放り込めばよい。しかしながら CCIP が厄介なのは、レティクルが HUD 上に見えるようになるために、相当な角度でダイブしなければならない点だ。これはより敵に接近することになるし、時には「死ぬほど」地面に接近することになる。

CCIP を動かしてみよう。UFC の SEL DOWN ロッカーキーを押して「MK-82」プロファイルを選択しろ。HOTAS DMS RIGHT コマンドか、PAGE DOWN でもできる。

[19] 破線のような CCIP インジケーションが HUD に見えるが、これはプロジェクト・ボム・インパクト・ライン (PBIL) と呼ばれるものだ。破線の表示はピパーが HUD 視野の下にあることを意味している。ピパーの照準を見るためにダイブをするつもりだが、その前にいくつか重要な CCIP インジケーションをみておこう。CCIP のイラストが載っているフライト・マニュアルを開いておくといいかもしれない。

次に進んでよければ SPACE BAR を押せ。

[20] PBIL は現在の飛行状態においてピパーが通る地表を、理論的に予測するものだ。ターゲットが PBIL に沿って通るようにすれば、簡単にピパーをターゲットに持っていくことができる。

レティクルは、中心のピパー・ドット、1000 フィート単位で着弾点までの直線距離を表示する伸縮レンジ、そしてミニマム・レンジ・キャレット (MRC) で構成される。

PBIL に沿ってミニマム・レンジ・ステーブル (MRS) があるだろう。有効な CCIP ソリューションを得るためには、これが常にレティクルの上になくってはならない。デザイアード・タイム・オブ・フォールがプロファイルに設定されている場合、デザイアード・リリース・キューも PBIL 上に表示される。ダイブ時、DRC がターゲットの上にあるように維持すれば、プロファイルに設定された落下時間と一致する投下地点まで DRC が導いてくれる。

次に進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[21] CCIP レティクルが見れるように、ダイブを行おう。

ダイブ時はエンジン出力を減らし、必要であればスピードブレーキも展開して加速を最小限に抑えろ。3,000ft 以上でリカバーしろ。

用意が出来たら、エンジン出力を減らし、SPACE BAR を押せ。オートパイロットを切るから自分でダイブを始めてくれ。

[22] オートパイロット OFF。ユー・ハブ・コントロール。機首を-30 から-40 まで下げろ。

[23] CCIP ソリューションの正確性を最も高めるには、加速を最小限にし、一定した軌道を描くことが大切だ。TVV がターゲットより上の、一点にあるよう維持しろ。そうすることによって CCIP ピパーが「這うように」ターゲットに近づいていく。CCIP レティクルを一点に維持しようとしてはならない。マイナス G がかかって、ソリューションや爆弾投下に問題を引き起こしてしまうからだ。

[24] 水平飛行。

[25] やりたければ、もう何度か CCIP を試してみてもいいぞ。だがその前に高度を回復するのが先だ。

次のトピックに進んでよければ、SPACE BAR を押してくれ。

[26] 次は、CCIP CR（コンセント・トゥ・リリース）モードについてだ。

方位をウェイポイント2（「MSN002」）に向けろ。6,000ftまで上昇し、速度を200ノット以上に保て。

[27] オートパイロットON。

CCIPの制約を補うため、A-10Cには2つのCCIP CR（コンセント・トゥ・リリース）モードが実装されている。CRモードでは、CCIPレティクルがHUD上に常に見えている。着弾点がHUDより下にある場合、標準のCCIPではレティクルが消えてしまうのに対して、CRモードではレティクルがHUDの底に残り、破線で表現される。これはピパーをターゲット上に置くことによってターゲットを指定し、ウェポン・リリース・ボタンを長押しすることによって攻撃を行うことを可能にする。これを行うには、理想的な投下地点を教えてくれる追加のHUDインジケーションが必要だ。投下地点を通過する間、ウェポン・リリース・ボタンを押しっぱなしにしていると、自動的に爆弾は投下される。

CRモードには2つの種類がある。「3/9」と「5-mil」だ。3/9モードの方がミスが許されるのでこちらを使う。

CRモードはIFCC TESTメニューから使用可能にできる。AHCPのIFFCCスイッチを右クリックし、TESTにセットしろ。

[28] UFC DATA ロッカーキーを押してCCIP CONSENT OPT（オプション）を「OFF」から「3/9」に変更しろ。

[29] IFFCCをONに戻すため、IFFCCを左クリックしろ。

[30] HOTAS マスター・モード・ボタンか、Mを押してHUDをCCIPモードに戻せ。

[31] 「3/9」がウェポン・リリース・モードとしてHUDに表示されただろう。

オートパイロットを切るからCRモードを練習してみろ。

CCIP CR表示をHUDで見するには、機首を約5度下げろ。

[32]

[33] 破線の CCIP CR 表示が HUD に現れた。レティクルは底にかかっている。右 CONTROL+右 SHIFT+Numpad 8 を押せばレティクルが良く見えるように視点を動かすことができるぞ。

ピパーを目標地点に置き、ウェポン・リリース・ボタンを長押しすれば、指定後のインジケーションが見られる。

[34] インジケーションが実線になった。アジマス・ステアリング・ライン (ASL) と 5-mil ソリューション・キュー、タイム・トゥ・リリース・ニューメリック (TTRN) が HUD に追加された。

PBIL と ASL が一致するように飛行しろ。

ターゲットに近づくと、TTRN が投下までのカウントダウンを始め、ソリューション・キューが HUD を下りてくる。お前の目標は、ソリューション・キューが PBIL を下りてきて、CCIP レティクルを通過するように機体を飛ばすことだ。

CCIR CR モードの練習を続けてくれ。

次のトピックに進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[35]

[36] CCIP CR 5-mil モードは 3/9 モードと同じように機能するが、5-mil ソリューション・キューが CCIP レティクルのピパーを直接通過したときのみ投下されるという点が異なる

次は、CCRP モードを見ていこう。HOTAS DMS RIGHT コマンドか、PAGE DOWN を押して「MK82AHI」プロファイルを選択しろ。HOTAS マスター・モード・ボタンか M を押して CCRP モードを選択しろ。

[37] CCRP インジケーションは CCIP CR の指定後に似ていて、ASL と 5-mil ソリューション・キューが理想的なリリース・ポイントを指し示してくれる。異なるのは、CCRP モードではターゲットは、使用可能なセンサーどれかを使ってセンサー・ポイント・オブ・インタレスト (SPI) にマークされるという点だ。

HUD においてターゲット・デジグネーション・キュー (TDC) を使って SPI を指定してみよう。

次に進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[38] HOTAS スルーコントロール DOWN か、ピリオド「.」を押して HUD の TDC を、HUD のハイライトされた部分に下げろ。HOTAS TMS UP コマンドか、左 CTRL+↑ を長押ししてこの点を SPI に指定しろ。

[39] 見慣れたアジマス・ステアリング・ラインや 5-mil ソリューション・キューとともに、CCRP 表示が HUD で見られるようになった。ターゲットに近づくにつれ、ソリューション・キューと TTRN タイマーが ASL を下りてきて CCRP レティクルを通過するが、このときウェポン・リリース・ボタンが押されていると、爆弾は投下される。

MK-82AHI のプロファイルを高抵抗爆撃に設定しているので、この場合のリリースポイントは実質ターゲットの真上になるだろう。

やりたければ、他の場所に SPI を指定してみてもよい。

次のトピックに進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[40] では、実弾を投下するため射爆場へ向かおう。

HOTAS TMS DOWN コマンドか、左 CTRL+↓ を押して、SPI をステアポイントにリセットしろ。

マスターアームを 2 回左クリックして ON にセットしろ。

[41] HOTAS DMS UP コマンドか、HOME を押してウェイポイント 3（「RANGE」）をステアポイントにセットしろ。射爆場へナビゲートしろ。CCIP ランを練習するにはいづらか高度が必要だろう。

[42] 射爆場には複数のターゲット・アレーが設置されている。MK-82 と MK-82AIR を CCIP モードと CCIP CR モード、そして CCRP モードで投下する練習を行え。

覚えておけ。MK-82AIR のプロファイルを高抵抗爆撃にセットしてあるから、CCRP モードにおいて HUD TDC でターゲットを指定すれば、低高度水平飛行で爆撃を行えるぞ。

[43] 射爆場に近づいてきた。

一般的に言って、ターゲットは 10 時か 2 時の方角に維持しながら接近するのがベストだ。ターゲットにロール・インしてダイブするのに最適なタイミングを見計らうことができるからだ。

これで解説を終わる。いまターゲットに RED スモークが焚かれ、進入が許可された！

[44] 複数のターゲットに命中した！

[45] 命中したようだ！

[46] よくやった。

[47] お見事！

[48] ナイスラン。